

2023年2月24日(金) 第2910回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:我等の生業

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

先日新聞を読んでいてちょっと気になる事がありましたのでお話しさせて頂きます。「消齡化」という言葉があるようです。それは年齢が消える、もっと言うと外見や消費生活からでは年齢がわからなくなる、という事らしいです。ある研究所が、20代から60代までの5人の首から下の写真をとって年齢あてクイズをやったら、ほとんどわからなかったようです。

携帯電話は若い、若くないにかかわらず皆持っている、肉料理は大好き(今晚のお祝い会でちょっと私より年齢の上の方に肉、魚のチョイスを聞いたら、土屋さん以外は皆お肉でいいとの回答でした)ファッションだって西山さんの着こなしは私なんかよりずっと素敵ですよ。

というのが「消齡化」という事らしいです。

ただ最後にしめくった言葉は「海外の出来事での関心度や日本国内での危機管理観は、やはり若い人たちはいまいちだとまとめてました。

最後になりますが、石川親睦委員長にはお手間かけました。1ヶ月遅れの安江会員のお祝い会が今晚やっと開く事が出来ませんが、宜しくお願いします。6人の方の湯河原駅ピックアップを聞いてます。私の濃紺の車でお待ちしております。

幹事報告 なし

連絡事項

1. 本日、18時より春陽亭にて安江会員の結婚を祝う会を催します。よろしくお願ひいたします。送迎をご希望の方は17時30分に湯河原駅集合をお願いします。
2. 3月の例会は、3日、10日、17日、24日の通常例会で31日は休会となります。

出席報告

会員	23 名	出席率	90.48 %
欠席	4 名	前回の修正出席率	75.00 %
(免除者)	2 名	前々回の修正出席率	85.00 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

ゲスト 木村 修太 様(湯河原町地域政策課)

スマイル Box

安江仁孝君

いよいよ本日となりました。よろしくお願ひいたします。感無量です。

2月23日はロータリーデーなので全員でスマイル。

卓話 櫻井 武志 君

代講 湯河原町地域政策課 木村 修太 様



皆様こんにちは。湯河原町地域政策課の木村と申します。本日は町の取り組みとして、3点ほど紹介させていただきます。お手元にお配りした資料も合わせてご確認ください。

1. 親子で体験する郷土「ゆがわら」

この事業は文化庁の「伝統文化親子教室事業」を活用したものです。次代を担う子どもたちが、地域に根付いた伝統文化を地域の人から学び、体験することで、地域に誇りを持ち、郷

土愛を育むとともに、地域との結びつきをさらに強めた地域コミュニティの形成を図ります。実施主体は湯河原町、実施期間は令和3年8月1日から令和4年3月31日、予算額は5,575千円でした。

参加対象者は「町内在住の親子」とし、湯河原町の役場関係部署は教室の募集、教室を開催するための関係団体(自治会、保存会、芸妓屋組合、農業者倶楽部、商工会、商店街連合会)との連携を司り、7つの伝統文化体験教室を開催しました。

(1) お囃体験教室

町の区会、祭囃子保存会並びに消防団のご協力のもと、祭りばやし(太鼓)の体験や習得、発表を行いました。実施期間は令和3年8月から令和4年2月で、14回の開催、親子102組232名の参加がありました。

(2) 着物着付け、日本舞踊教室

湯河原芸妓屋組合のご協力のもと、浴衣の着方やお囃子体験(鼓・太鼓)、日本舞踊体験を行いました。全2回の開催で、親子4組11名の参加がありました。

(3) 和菓子づくり教室

湯河原町商店街連合会のご協力のもと、和菓子づくり体験を行いました。全4回の開催、親子15組33名が参加しました。

(4) 俳句教室

湯河原町在住の俳人：黛まどか氏のご協力のもと、俳句の講義、さらに季語かるたを使った季語の勉強、俳句作りを行いました。実施日は令和3年10月3日(日)、親子6組16名の参加がありました。

(5) みかん収穫体験教室

湯河原農業者倶楽部のご協力のもと、みかん収穫体験、貯蔵・出荷等の講義、いのしし畏の説明を行いました。実施日は令和3年10月31日(月)、親子14組35名が参加しました。

(6) お飾りづくり体験教室

文化福祉会館実践委員会、門川会館あそびと学習の会、川堀ふれあい学びの会のご協力のもと、お飾りづくり体験やわらすきを行いました。全2回の開催で、親子13組33名の参加がありました。

(7) 狂言教室

こちらはワークショップと体験教室の二本立てで行いました。ワークショップは狂言師：大藏彌太郎氏のご協力のもと、町内3小学校の主に6年生を対象に、各小学校の授業での狂言の講義、並びに体験ワークショップを行いました。全2回の開催、児童167名が参加しました。一方、体験教室では狂言の体験、

習得、発表を行うもので、全4回の開催、親子4組8名の参加がありました。

こうした教室の開催を通して、①地域コミュニティの形成 ②郷土への誇り・郷土愛の醸成、将来の定住・Uターン ③地域の魅力再発見が目指され、それをもって地域課題の解決への気運を育むことができたと考えています。

2. 誰もが主役のプラットフォームマッチング事業

当町は、神奈川県未病への取り組みをきっかけに、慶應義塾大学(SFC)などと「未病に取り組む多世代共創コミュニティの形成と有効性」をテーマとした事業に取り組んできました。その中で、子どもからお年寄りまで地域の多様な人々が集い、あたたかい「斜めの関係」を育むことによる生きがいの創出が、心身の健康増進・未病改善に繋がることから、世代を超えた様々な活動が生まれる「地域の居場所(ゆがわらっことつくる多世代の居場所)」を開設し、運営(居場所からはじまる持続可能な地域活性化モデルの構築)しています。

活動の経過としては、まず平成28年に「地域の居場所」をオープン、令和4年には、湯河原駅近くに2箇所目となる「多世代交流拠点」を開設し、これまでの居場所としての機能とともに、町内外を問わず湯河原町に関心のある誰もが気軽に交流できる新たなコミュニティ形成の場となることを期待しています。また、目指すべき将来像として「人々が集いたくなる『場』と『関係』を形にし、『関係人口』を豊かに育む」ことを見据えています。

3. コキアサポーター募集

昨年10月7日の卓話でご紹介した「コキアの郷」整備構想ですが、現在コキアサポーターの募集を行っております。コキアサポーターとは星が山公園にコキアの郷を整備、運営するためのお手伝いを行う方々で、湯河原町内に在住または在勤の方を対象としています。

活動内容は ①4～6月、コキアの苗の育成 ②6～7月、地植え ③11月～、種の収穫 ④除草作業などの環境保全を予定しています。いずれも無理のない範囲での参加をお願いし、コキアの育成に必要な物品は支給いたします。登録には配付いたしました資料(湯河原町コキアサポーター登録申込書)に必要事項を記入し、湯河原町観光課へ提出していただき、湯河原町から登録通知書が発行されれば登録完了となります。

ご静聴ありがとうございました。

(文・編集：石川浩子(2月会報担当)／クラブ会報委員会)